



例会日:毎週木曜日・昼12時30分

ホームページ・アドレス...<http://park10.wakwak.com/~nrc/>
メール・アドレス.....nrc@bf.wakwak.com

例会場:エンシティ ホテル延岡・電話(0982)32-6060

事務局:TEL(0982)35-4986・FAX(0982)35-4987

2018~2019年度 RIテーマ

インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION

平成30年9月6日

第1879回 (40-9) 例会

ロータリーソング

国歌「君が代」「奉仕の理想」
「四つのテスト」

S A A : 矢野恵治
(リーダー: 潮田 謙)

プログラム ◆ゲスト卓話

ゲスト紹介 ◆塩月 真様 (延岡中央 RC 第3代 会長)

ビジター紹介 ◆延岡東 RC ⋯ 門田賢士君

幹事報告 ◆※9月スケジュール

- ・9月 6日 ⋯ ゲスト卓話
- ・9月 13日 ⋯ 観月会 「高浜」 18:30 から
- ・9月 20日 ⋯ 職業奉仕・社会奉仕フォーラム
- ・9月 27日 ⋯ 特別休会 (今月のロータリー為替レート: 112 円)
- ※「マンガ若山牧水」をフェローシップの方で販売しています。 (本日 20 冊)
- 本日ゲストの塩月真様が原作者です。
- ※本日は17名の会員が台湾宜蘭西RCへ表敬訪問しています。
- ※新会員の推薦書をメールボックスは入れております。

フェローシップ委員会

(上杉 健一郎 委員長)

◆次の方々からご芳志を頂きました。

(本日の BOX ¥2,000 累計 ¥196,000)

- ・藤原莊一郎会員 ⋯ 塩月さん、本日は宜しくお願ひします。
- ・甲斐 寛人会員 ⋯ 塩月さん、本日は卓話宜しくお願ひします。

★9月誕生会員★

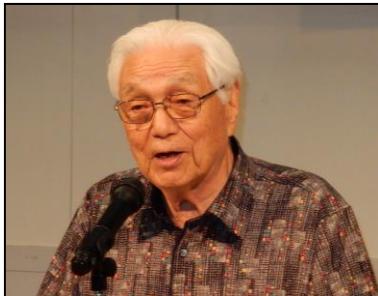


甲斐靖一会員・阿部経人会員

本日の出席	会員数	56名 内免除会員0名	欠席	吉田君・甲斐(稔)君・北林君・山崎君 織田君・花岡君 【先取】津野田君・川邊君・山本君・谷山君 友井君・長友君・大久保君・酒井君 甲斐(睦)君・甲斐(重)君・秦君・宮本君 川口君・岩佐君・前野君・岡田君 桑原君・吉岡君
	出席数	50名		
	欠席数	6名		
	出席率	89.29%		
前々回の修正	出席率	85.71%	メークアップ	なし
	出席数	48名		
	修正率	85.71%		

延岡中央 RC 基金 (藤原莊一郎委員長)	◆次の方々からご芳志を頂きました。 ・杉尾 醇会員 ￥10,000	(本日の基金 ￥15,000 今期累計￥259,000) ・谷山光信会員 ￥5,000
米山記念奨学委員会 (野中千代委員長)	◆次の方々からご芳志を頂きました。 ・谷山光信会員 ￥5,000	(本日のBOX ￥1,579 累計￥24,665)
ロータリー財団委員会 (大久保次郎委員長)	◆次の方々からご芳志を頂きました。 ・谷山光信会員 ￥5,000	(本日のBOX ￥1,550 累計￥25,349) ・高島 剛会員 ￥3,000

◆ゲスト卓話



塩月 真様

延岡中央ロータリークラブ 第3代（1981-1982年度）会長

《職歴》

昭和30年5月宮崎日日新聞社編集局入社、文化部長、報道部長、事業本部長、広告局長、販売局長、(株)延岡宮日サービスセンター社長を歴任、その間、夕刊ポケット新聞社社長就任。

平成19年8月から29年8月まで若山牧水延岡顕彰会会長。現在同相談役。

延岡・いわき市兄弟都市締結の経緯

平成5年11月上旬、私は初めて福島県いわき市を訪ねた。私の母は、その昔、磐城平から延岡に転封になった内藤藩士猪狩家の出である。猪狩家のルーツ探索が目的だった。

いわき市では観光案内所の紹介で磐城平城址にある龍が城美術館館長斎藤伊知郎氏に会った。斎藤氏は河北新報、福島民友新聞の元記者で同市の今昔に精通している。初対面から気脈が合った。話は共に旧内藤藩の城下町である延岡、いわき市の交流にまで発展した。

斎藤氏はいわき市政記者クラブでその件について話してくれ、と言いざま電話した。

記者クラブで話したら折角の機会だからと、助役室に案内した。市長出張中のため佐々木進助役に会わせたものだ。助役は『市でも国内都市交流を推進中だ』と大乗り気だった。

私はいわき滞在4時間足らずで帰途についた。本来の目的は時間切れで不発に終った。しかし、私は全く想定外の両市の交流話に大満足。胸中少なからず興奮気味だった。

帰延後私は、11月22日付け宮崎日日新聞のエッセー欄に寄稿、いわき市訪問の一切を記述の上で「今年は市制施行60周年。これから市づくりの方策の1つとして、内藤氏ゆかりの共通の歴史を持つ人口35万の東北の中核都市いわき市との交流は考えられないものか」と延岡市当局に提言した。

その新聞を斎藤氏に送ったところ岩城光英いわき市長から私に電話があった。内容は左の通りだった。

『斎藤さんから新聞を見せて貰った。都市交流は重要政策の1つです。内藤氏との縁で最も関係が深い延岡市とは是非交流の道を開きたい。来年5月に宮崎市に出来張るので延岡まで足を延ばして市長にお会いしたい』。

一方斎藤氏は、私と会った直後からいわき市ペンクラブ(斎藤会長)の発起で市内のロータリー、ライオンズクラブ、史談会、経済団体などに「いわき市と延岡市の交流を深める会」の創立を働きかけていた。

正に電光石火である。12月13日に同会の創立総会を開催、翌年春に延岡市を訪問する決定までしている。斎藤氏は私の電話連絡で『この会の推進役をいわき平中央ロータリークラブに頼んでいる』と言い、同クラブの中心人物として鈴木喬二氏(後に第2530地区ガバナー)を紹介した。

私は斎藤氏からの連絡内容を当時の延岡中央ロータリークラブの杉尾醇会長に伝えた。杉尾会長は斎藤氏と私の意を解して、同クラブ創立15周年記念事業としていわき平中央クラブとの友好締結を決めてくれた。

以降、平成6年3月にいわき市からの初の訪問団30人が来延。地元勢58人が歓迎接待した。5月に約束通り岩城市長が来延。桜井哲雄延岡市長と会談、歓迎宴に杉尾氏と私も同席した。10月にいわき市で両クラブの友好クラブ締結。延岡から姫野俊博会長ら6人が出席した。

同7年3月、いわき平中央の会員21人が来延。両クラブの実質的交流が実現した。

延岡・いわき兄弟都市の締結式は同9年5月30日にいわき市のホテルで行われた。この期日は、両市の市長が初会見した際、岩城市長から内藤氏が延岡転封になった延享4年(1747)から250周年になる平成9年にしては、と提案があつてのことである。

両市兄弟都市締結の最高の功労者斎藤伊知郎氏は同6年3月29日に急逝した。同月の延岡訪問直前に持病が悪化して入院、訪問団出発の前